

# SVブロック

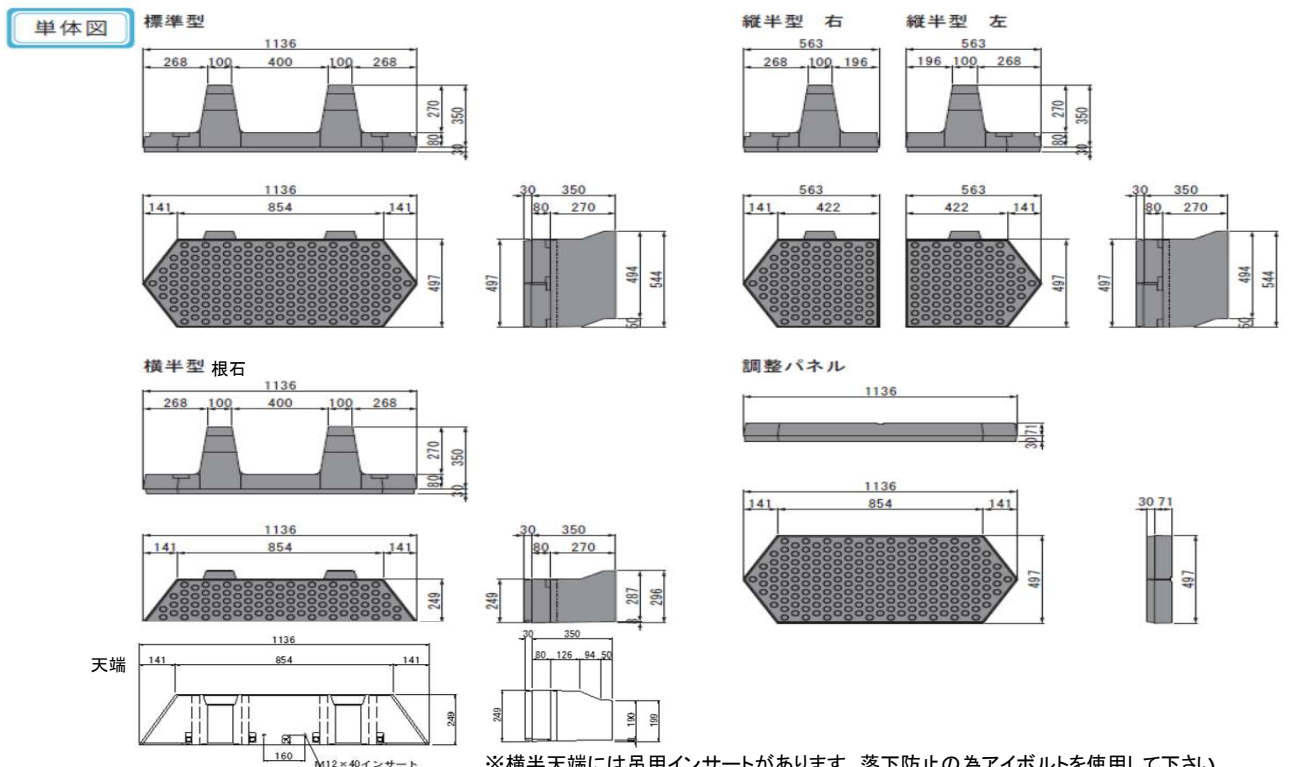


## 特長

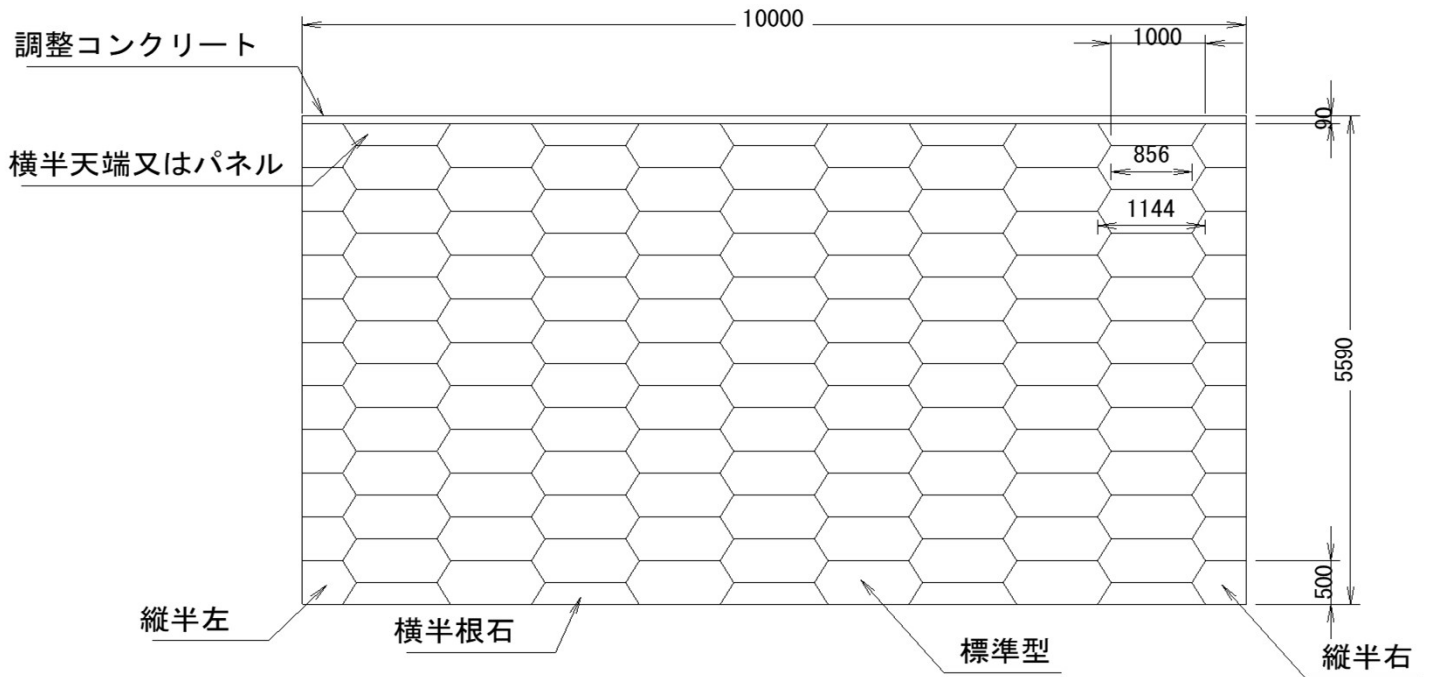
- 連続した目地が通らない形状となっており、クランプにて施工性も向上します。
- 兼用護岸等(環境型)にも対応可能なブロックで、従来の積み(間知)ブロックと同等以上の壁体重量と強度を有しています。
- 面部は多孔質構造で低明度・テクスチャーに優れています。
- その他、ノックアウト式の水抜き穴、m<sup>2</sup>当り使用個数2個、専用クランプで省力化が図れます。

規格	呼び名	呼び寸法(mm)	参考重量	胴込コンクリート	使用個数
		法長×幅×控え	(kg)	(m <sup>3</sup> /個)	(個/m <sup>2</sup> )
	標準型	497×1136 / 854 × 350(30)	193	0.101	2
	縦半型(右・左)	497×563 / 442 × 350(30)	93	0.049	4
	横半型(天端・根石)	249×1136 / 854 × 350(30)	95	0.048	4
	調整パネル	497×1136 / 854 × 71(30)	104	0.138	2

## 寸法図



# SVブロック



※縦半型は、正面から見て標準型の左側に配置するものを「左」、右側に配置するものを「右」と呼びます。

## 標準断面図

